

【第 59 回 卒業式が行われました】



令和 6 年 3 月 1 日、大和高校の第 59 回卒業式が開催されました。
新型コロナウイルスの影響を受け、学校生活に様々な影響があった時を過ごした 3 年生。
今年はアフターコロナということで、3 年生最後のイベントとなる卒業式には、各家庭より
2 名までの保護者が出席し、59 期生 276 名の旅立ちを見送ることが出来ました。



～川島校長からの式辞～

『59 期の 3 年生は With コロナ～After コロナの期間に在学した 3 年間でした。18 歳で成人を迎えるということは、自立し、自ら行動していかねばならない。この 3 年間での経験や技能を活かし、責任をもって楽しみながら活路を切り開いてほしい。』

環境の急激な変化の中でリーダーとなっていくことを期待されている君たちには様々なことに興味を持ち、学びの姿勢や粘り強さで最適解を選択して勇気を持って行動していけるよう頑張ってもらいたい』



～佐藤伸之 PTA 会長からの祝辞～

『この卒業証書は小学校～高校までの 12 年間の努力の結晶である。コロナ禍を乗り越え培った和高魂を研鑽し、新しい世界で活躍できることを祈っています』

退場時には見送る担任と副担任の先生に向けてクラス代表を筆頭にクラス全員が 1 年間の感謝を込めたメッセージを大きな声で伝えた後、花道で迎える担任、副担任の先生に一人一人がハイタッチして新しい世界へ向けて巣立って行きました。



式後、学年代表の古川竜三先生より、保護者に向けて、この3年間を支えてくれた感謝とメッセージを頂きました。
『卒業生たちは、コロナの過渡期中、何が正しいのか、何を自分たちが出来るのかを考えながら実行してきた1、2年生の学校生活。3年生になってコロナが明けた後、何もない中から、体育祭や文化祭、部活動などの学校生活の全てを模索しながら作りあげていました。先輩たちからの経験を踏まえながら、ただ作り上げるということではなく、行事の度に後輩たちがやりやすいよう、伝統を鑑み対応してくれた59期のスローガンは、【突き抜ける】。生徒も私たち学年団職員もそれを重視しながら頑張り、過ごしてきました。まだ受験の結果も出揃っていませんが、最後まで生徒たちがそれぞれの道を進めるように一緒に頑張りたいと思います。最後にお支え頂きました保護者の方々にお礼を申し上げます』



卒業生からの贈呈品は、校庭を見渡せる場所に植えられた桜の若木2本。

『勇気を翼に込めて 希望の風に乗れ この広い大空に 夢を託して 今 別れの時

飛び立とう 未来信じて はずむ 若い力 信じて この広い 広い 大空に』

卒業式に高らかに歌った『旅立ちの日に』の歌詞がごとく、大空に伸び行く若木の姿が、清々しく晴れた青空にまっすぐに枝を広げて立っていました。



▲学年委員会作成の掲示板

最後に…高校生になると小学校、中学校の時とは異なり、子供との距離が遠くなります。しかし、PTA活動の取材で高校に出向く事で大和高校について知ることが出来る良い機会となりました。いつも学校へ行くと生徒達が元気に挨拶をしてくれました。部活動以外での先生方の指導する姿やPTA活動を通しての人柄もうかがえました。そして、PTA活動を通して、本部の方々だけでなく、各委員会の活動がより理解でき、各委員会の皆様のお支えがあって学校生活が作られている事を実感する事ができました。PTA各委員の皆様、お時間を割いて、今年1年間、委員会での各活動にて学校生活をお支え頂いたこと、心よりお礼申し上げます。そしてお疲れ様でした。又、PTA活動に協力して頂いた保護者の皆様ありがとうございました。

【HP委員会】